

## 2日目 そして船に乗る。

5:30起床

6:00 8Fにあるレストランでバイキング。

5:55に行ったらすでに始まっていた。部屋が7F だったので階段で上がったのだが、その後すぐに長蛇の列ができたのでラッキーであった。チーズ・ソーセージ・ヨーグルトがうまい。

8:15集合・出発

ヨーロッパでは、しばしば地表階を0Fと呼ぶ。先ほどのレストランは、日本式に言うと9Fとなる。エレベーターがなかなか来ない。このホテルの2台あるエレベーターのうち1台はドアが手動式である。各階に停止するのだが、満員で誰も乗ることができない。

8:23バス出発。ギリシャの海の玄関ピアス港へ

2004年オリンピックのバレーボール会場を横目で見ながらピアス市内へ入る。ちょうど、東京と横浜のような関係か。アテネとエーゲ海を結ぶクルーズ船以外にも、定期船(多くはフェリー)や大きな船が出入する。すでに2200年前には地中海東部の中心港として栄えていたという古い歴史を持つ港である。

8:40港へ到着

乗船手続きに入る。飛行機並みの手荷物検査と出国手続きがあり、ちょっと驚いた。もっとも、明朝に着くクシャダスはトルコ領なのだ。

しかし、最も驚いたのは「避難訓練」である。ベッド下のライフジャケットを付けて7階ポートデッキに行くのだが、暑い中(連日38℃～39℃あった)ポートごとの人員点呼が完了するまで約1時間解散にならないのだ。2012年のコスタ・コンコルディア号の事故後厳しくなったのかもしれないが、今日初めて乗船した乗客に対してここまで徹底してやるとは予想もつかなかった。

11:00 出港

デッキに出てみたらすでに出港していた。とても静かに動き出したので気付かなかったほどである。

12:00昼食 ボリュームがあり、満腹する。



前菜(2人分)



メインディッシュ (選択制:魚料理は常にタラ。他には、肉料理とベジタリアン・メニューが選べる)



デザート (2人分)

| 都市名   | 時刻               | 交通機関 | スケジュール   |
|-------|------------------|------|--|
| アテネ   | 08:30            | バス   | ホテル出発予定<br>《ピレウスへ》(約10km)<br>～3泊4日のクルーズの始まりです～ |
| ピレウス港 | 11:00            | 船    | クルーズ船に乗船し、《ミコノス島へ》<br>昼食は、船内にてお楽しみください。        |
| ミコノス島 | 12:00～<br>～14:00 |      |  |
| ミコノス島 | 18:00            | 船    | 《ミコノス島へ入港》<br>着後、《自由散策》をお楽しみください。              |
|       | 19:00～<br>～21:30 |      |  |
|       | 23:00            | 船    | 夕食は、船内にてお楽しみください。<br>ミコノス島を出港し、《クシャダスへ》        |

&lt;船中泊&gt;



(航跡の向こうに見えるのがピアスの市街地)



13:45乗船説明会

MCによる乗船説明会は、説明なのかジョークなのかはほぼ判別不能(ちなみに英語)だったが、分かった部分だけでも結構笑えた。ちなみにこのMC、スペイン語やフランス語でも語っていたが、ギリシャ語はなかったようだ。日本語の説明は、日本人スタッフのワカナ(若菜?)さんによる。

乗船時の説明(要約3泊4日クルーズ用)

**荷物:**(お預けになる荷物+手荷物)にX線を通し、お客様はセキュリティを通り、手荷物を受け取ります。スーツケース等は預けていただくとキャビンまで運ばれます。  
**チェックイン:**客船ターミナルにてホテルと同様にチェックインを行います。パスポートとチケットをご用意下さい。パスポートは港湾局による管理のためクルーズ期間中お預かりし最終日の前日にお返し致します。お客様へはクルーズカードをお渡し致します。このクルーズカードが、船のチケット代わりに、また、お支払いのための物になります。乗船期間中のIDカードとなりますので常に携帯下さい。乗下船の際は乗下船口にてセキュリティーオフィサーにご提示下さい。尚、パスポートは**緊急避難訓練(LIFE BOAT DRILL):**国際海洋法に基づきお客様は乗船後24時間以内に避難訓練をすることが義務づけられています。キャビン内にある、救命胴衣(LIFE JACKET)あらかじめご確認下さい。訓練時には船内アナウンスによって指示がありますので、救命胴衣を正しく着用の上、マスターステーション(避難場所)のデッキに出てきて下さい。尚、訓練中は船内全てのサービスを一旦停止させていただきます。  
 船上サービスのご案内: ☆船上上での案内は基本的に英語となります(3泊4日、4泊5日クルーズのみ日本語スタッフが乗船)。  
**デイリープログラム(日本語版):**営業時間など詳細は、船内で配られるデイリープログラムでお確かめ下さい。  
**船の電圧(ELECTRIC CURRENT IN CABIN)**  
 この船では110V。日本から持って行ったアダプター類すべて使えた。  
**クルーズ内のお支払い:**船内の通貨はユーロです。現金の場合は最終日にまとめてのお支払になり、また、クレジットカードを登録すると、全てが引き落としになります。  
**オプションツアー:**クルーズ中のオプションツアーの申し込みは、全て現地に着いてからとなります。

日本人スタッフのワカナ(若菜?)さんによる。

The screenshot shows a digital display of the cruise ship's daily highlights. At the top, it says 'TODAY'S HIGHLIGHTS' and 'Celestyal Cruises'. The date is '2015年7月31日(金)'. The weather is 'くもり 23°C - 29°C'. The page is divided into sections: 'ビレウス' (Vireos) with a 6:00 departure and 10:30 arrival; 'ミコノス' (Mykonos) with an 18:00 departure and 22:30 arrival; and 'オプションツアー' (Optional Tours) including a Mykonian Coast tour and a walking tour. There is also a section for '下船手順 - ミコノス' (Disembarkation procedure - Mykonos) and '重要情報' (Important Information) regarding safety drills and contact numbers.

船での移動は、大変快適。船室で昼寝していれば目的港に着く。ちなみにこの船会社は、右のようなタオルアートが売りで、ベッドメイキングの度に違う作品が置いてあった。



18:00 ミコノス島に到着

エーゲ海の白い真珠といわれるミコノス島に着岸。港には、同じ会社の"セレスティアル・クリスタル号"が既に着いていた。この島のミコノスタウンまでのシャトルバスは、今年から無料になったそうだ。

ミコノス島について(旅行社のパンフレットより)

エーゲ海で最もよく知られているリゾート島。観光シーズンになると島の人口は倍増し、町は一晩中にぎわう。白壁の家並み、雲ひとつない青空、まぶしく輝くビーチ。まさに「エーゲ海の島」のイメージそのもの。ミコノスの路地は風を遮るためと海賊を迷わせるため、複雑に入り組んでいる。島内に400以上ある教会の鐘の音を聞きながら、そんな迷路を散歩するのも楽しい。リマニ港のまわりにはカフェやタベルナ、民芸品を売る店が、並び旅行者でにぎわっている。

また、カト・ミリと呼ばれる丘には風車があり、ここから眺める夕日は感動的な美しさ。ビーチはのんびりくつろげると同時に華やかな社交場だ。ヌーディスト・ビーチもあり、誰もが好きな格好でエーゲ海の日差しを堪能している。日中はビーチで、夜はバーやディスコで、ミコノスは訪れた人々を決して飽きさせない。

ミコノスの食: リマニ港は漁港でもあるので、新鮮でおいしい魚介類がおすすめ。どのタベルナで食べても満足できるだろう。また、アーモンド生地のアマダロタというケーキやコパニスティというミコノス特産チーズも人気がある。





# ミコノス島の印象



リマニ港から見るミコノスの町



ミコノスのギリシャ正教会  
 いわゆる東方正教会の教義や祭礼は、  
 は、カトリックとかなり似た内容であるらしい。  
 い。ギリシャとロシアの2派あるが、ロシア正  
 正教会は、(スターリン治世下)の社会主義  
 義時代に、ギリシャ正教会は、オスマントル  
 ルコ支配下の時代にかかなり厳しい迫害を受  
 受けた。  
 ギリシャの町には、このようなコンパクトな  
 教会が、それぞれ 100m ごとに建っている。  
 る。



有名な“リトル・ベニス”



↑ムール貝の蒸し物(€14)

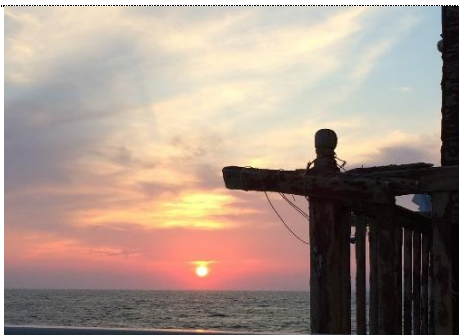
生絞りのオレンジジュース→

ほとんどのレストランやカフェにスクィーザーがある。

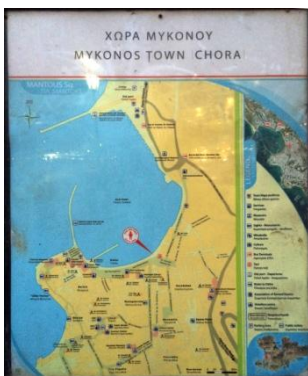


カト・ミリの風車をリトル・ベニスから望む

エー  
ゲ  
海  
に  
沈  
む  
夕  
日



6台あったが…。(左端は、長期修理中らしい)



23:00 ミコノス島発

サマータイム制のために21:00頃まで明るい。緯度は、北緯36~38度だから日本と大差ないはずなのにとても日が長く感じる。

←チョーラのビーチにあった地図

エーゲ海の夜景→

